

事業番号	02 06 02	事業改善シート(令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課	
		実施期間	S42 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	④インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加			⑦健康長寿日本一を維持		
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保	3-9 本州中央部広域交流圏の形成	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり			

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】 県民の移動と地域間交流を支える鉄道は、県内交通の幹線として位置付けられているが、沿線人口の減少・少子高齢化などの影響による輸送人員の減少に加え、施設・設備の老朽化への対応、駅舎のバリアフリー化など新たな要請への対応が求められるなど、事業者の経営環境は厳しさを増しており、事業者の努力のみで、これら課題に対応しながら県内鉄道路線を維持することは困難となっている。 北陸新幹線は1997年10月に高崎・長野間が、2015年3月に長野・金沢間が開業した。また、2012年に着工された金沢・敦賀間については、2023年度末開業を目指して整備が進められている。残る敦賀・大阪間については、2017年3月に全区間のルートが決定されたところであり、引き続き、金沢以西の全線を早期に整備する必要がある。
	【目指す姿】 鉄道の利用促進や活性化への取組に参画するとともに、鉄道事業者が行う安全性向上対策や駅舎のバリアフリー化のための設備整備等に対する支援を通じて、地域公共交通の基幹的役割を担う鉄道の利用促進、安全性・サービス向上を図り、鉄道の維持と住民の足を守る。北陸新幹線を大阪までフル規格で早期に整備し、県民の利便性向上を図る。
	【実施内容】 鉄道事業者が行う安全性向上のために必要な設備整備に対する補助、鉄道駅における段差の解消のために必要なエレベーター等の設置に対する補助、北陸新幹線建設促進に係る要請活動

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	県内鉄道キロの維持	km	788.5	788.5	→	788.5	→	788.5	達成
2	鉄道施設の老朽化、設備不良に起因する重大事故の発生	件	0	0	→	0	→	0	達成
3	平均利用者が3,000人/日以上 の駅におけるエレベーター等整備率	%	87.5	95.0	↑	95.0	→	100.0	未達成
4	(参考指標)平均利用者が3,000人/日以上 の駅におけるエレベーター等設置駅数	駅	21	19	↓	19	→	—	—
5	(参考指標)エレベーター等設置 駅数(平均利用者が3,000人/日未満の駅)	駅	12	15	↑	16	↑	—	—

区分(単位:千円)		R1年度	R2年度	R3年度
事業コスト	前年度繰越額	14,664	254,507	0
	当初予算額	434,271	499,239	466,653
	補正予算額	5,212	52,482	331,740
	合計(A)	454,147	806,228	798,393
	うち一般財源	198,087	168,217	212,013
	決算額(B)	157,748	798,738	667,316
職員数(人)		3.0	3.0	3.0

成果指標及び目標値の設定理由	1.県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため 2.県民の移動と地域間交流を支える鉄道の安全・安定運行を維持するため 3.国の基本方針(2020年度までに1日の利用者が3,000人以上の駅におけるバリアフリー設備設置)に基づき、エレベーター等の整備率を成果指標に設定
達成状況の分析	1.沿線住民、市町村、鉄道事業者と協働して利用促進や利便性向上に取り組んでおり、公共交通の基幹である鉄道路線のネットワークは引き続き維持されている。 2.鉄道事業者が実施する設備整備への支援を行い、鉄道設備に起因する重大事故は発生しなかった。 3.目標値は達成できなかったが、全ての対象駅においてエレベーター等が設置される見込みとなった。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓安全・安定輸送の確保のために必要な設備整備や維持修繕を20件支援(長野電鉄株、しなの鉄道株、上田電鉄株、アルピコ交通株) ✓沿線自治体等で構成する同盟会等13団体と協働し、利用促進活動や要望活動を実施 	 しなの鉄道株の新型車両  国交省への要望活動(北陸新幹線建設促進同盟会)  大系線サイクルトレイン(大系線活性化協議会)
------	--	---

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 各鉄道路線の利用率、利便性の向上及び県内鉄道路線の維持 施設の老朽化対策や駅のバリアフリー化による安全・安定輸送や移動等円滑化の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 同盟会を始めとした各沿線活性化組織と共に協働して、利用促進を図り、県内鉄道の路線の維持に努める。 鉄道事業者の輸送サービス安全性確保、駅舎バリアフリー化の取り組みに対し、車両更新や設備整備の支援を行う。

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	-----------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	鉄道振興対策事業費	103,058 千円	653,205 千円	665,516 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	地域鉄道安全性向上事業費補助金	補助金	鉄道路線の安全性向上のため、必要な設備整備に対して補助を実施 補助対象事業者:長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株) 補助額:359,802千円(一部繰越)
2	利用者にやさしい駅舎の整備事業補助金	補助金	鉄道駅における段差解消のため、必要なエレベーターの設置に対して、補助を実施 補助対象事業者:東日本旅客鉄道(株) 補助額:6,667千円
3	大糸線利用促進輸送強化期成同盟会負担金	負担金	・要望活動(10月、1月) ・啓発、広報、利用促進活動
4	中央東線高速化促進広域期成同盟会負担金	負担金	・要望活動(11月) ・啓発、広報、利用促進活動
5	大糸線活性化協議会負担金	負担金	・啓発、広報、利用促進活動
6	地域鉄道安全運行支援事業	補助金	鉄道輸送の安全確保を図るため、地域鉄道事業者が行う車両設備の維持修繕等を支援 補助対象事業者:長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株) 補助額:122,325千円
7	地域鉄道運行確保維持支援事業	補助金	県民生活を支える地域鉄道の運行を確保するため、コロナ禍で厳しい経営環境にある地域鉄道事業者の運行継続に要する経費を支援 補助対象事業者:長野電鉄(株)、しなの鉄道(株)、上田電鉄(株)、アルピコ交通(株) 補助額:216,000千円
8	アルピコ交通上高地線復旧支援事業	補助金	令和3年8月の大雨災害により一部不通となっているアルピコ交通上高地線の早期復旧を図るため、被災した橋梁復旧費用を支援 補助対象事業者:アルピコ交通(株) 補助額:56,000千円(全額繰越)
9	被災地域鉄道代替輸送支援事業	補助金	令和3年8月の大雨災害により被災したアルピコ交通上高地線の一部不通となっている区間における移動手段を確保するため、代替輸送に係る経費を支援 補助対象事業者:アルピコ交通(株) 補助額:12,414千円

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	北陸新幹線建設促進費	1,800 千円	1,800 千円	1,800 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	北陸新幹線建設促進同盟会負担金	負担金	・建設促進等に係る国等への要請活動(春、秋) ・建設促進に関する調査研究及び広報等

事業名	鉄道振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	-----------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	しなの鉄道設備投資等借入金損失補償	債務負担行為(元金1,140,000千円及びこれに対する利息(遅延利息を含む。)相当額並びに補償履行日までの利息) 千円	債務負担行為(元金2,100,000千円及びこれに対する利息(遅延利息を含む。)相当額並びに補償履行日までの利息) 千円	債務負担行為(元金1,650,000千円及びこれに対する利息(遅延利息を含む。)相当額並びに補償履行日までの利息) 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	しなの鉄道設備投資資金借入金損失補償	直接	しなの鉄道の設備投資資金等借入金の金利負担を軽減するため、県が損失補償を行う。